

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野和広

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様にはご家族お揃いで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

長引く新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことによって、ようやく従来の生活を取り戻すところまでやってきました。しかし、ここに来ましてインフルエンザの流行が見られ感染症対策は一時の油断も許されません。町民の皆様には常日頃ご自身の体調にご留意され生活されますことを願っております。

ところで、世の中の動きに目を向けますとロシアによるウクライナ侵攻は、依然として行われており、収束の兆しは見えません。その様な中、中東ではイスラエルとパレスチナ自治区ガザとの間で紛争が起きました。その根底には我々には計り知れない両国間での遺恨が起因しておりますが、常に犠牲になるのは罪なき市民であります。また、中国による台湾海峡・東シナ海での威圧的な軍事行動は、我が国にとっては目が離せない関心事であります。

国内では、今年は間違いなく衆議院選が行われる筈です。旧統一教会の問題、政権内部での度重なる政務官の交代、さらには永年行われてきた政治資金パーティーでの収支報告書への不記載や議員への還流など、再び政治と金の問題がクローズアップされ、その事が政権中枢を直撃し、過去に例を見ない大幅な人事が行われました。経済力に陰りが見える中、一刻も早く日本の政治を立て直していただきたいと思っております。

さて、ここからは今年の町政の大きな流れについてお話しします。初めに睦合小と栄小の統合についてですが、これまで

何度となく行ってきた地区説明会とアンケート調査の結果、「2校を統合し、統合後の校舎は睦合小学校を使用する」という具申案が多くの皆様から賛同を得られました。それにより私は、そのご意見を尊重し令和8年4月開校を決定いたしました。なお、これまで寄せられた声には真摯に耳を傾け対処してまいります。

次に庁内の機構改革についてですが、時の流れは早く、それに伴い膨大な量の情報が溢れています。そこで4月より庁内にDX(デジタル・トランスフォーメーション)課を新設し、業務の簡素化とスピード化を図ります。既に昨年度よりいゆるんな分野で実施に踏み切り大きな成果を挙げております。それから旧万沢小には情報機器会社のリングロー(株)が入居します。パソコン機器の販売や教室運営、さらには町民の憩いの場を創設し、地域の活性化を図るとの事ですので、大いに期待をしております。

また、嬉しいニュースとしては徳間の天伯園をリニューアルして、ヨガ教室や岩盤浴を備えた宿泊施設をメインとする事業が静岡市を中心にした女性有志の方々によつて計画されています。各人が教室運営をされている人達ですので、間違いなく関係人口は広がってまいります。それから昨年の11月には佐野川の入口にキャンプ場がオープン致しました。冬場にも関わらずお客さんの入りは良い様です。こちらも交流人口の増加に大いに寄与していただけるものと期待をしております。

それから分庁舎を進めております2階建ての立体駐車場は秋頃には完成致します。

す。これまで要望され続けていた案件がやっと解消されます。

さらに町民の悲願でありました新々富士川橋(正式名:富士川かりがね橋)も、いよいよ3月9日に開通式を迎えます。都市部への交通網が整備されることによつて、その効果が多岐に渡って現れてくると思っております。

ここまでは希望の持てる話ばかりでしたが頭の痛い問題もあります。人口減少や高齢化に伴い病院や介護施設の在り方が問われております。これまで幾度となく話し合いを重ねてまいりましたが、結論を出すまでには至りません。具体的には身延山病院、飯富病院、それに南部診療所、万沢診療所を含めた形での地域医療の将来像です。いずれ町民の皆様へ説明を行ってまいります。実に難しい問題です。また、慈生園の存続についても、なかなかハードルが高くてこちらも頭を悩まします。どの施設も設立に至るまでの経過がありますので、結論を導き出すまでには、もうしばらく時間がかかります。

今年の干支「甲(きの)のえ(辰(たつ))」は中国の「陰陽五行思想」によれば、「春の日差しがあまねく成長を助く年」であり、春の暖かい日差しが大地すべてのものに平等に降り注ぎ、急速な成長と変化を誘う縁起の良い年であると言われます。町が抱える幾多の懸案事項にも明るい光が差し込み、さらには大きな発展が成されます様、年男である私も、全力で町政に向き合っております。町民の皆様には健康で幸多き年となります事を御祈念申し上げます。私からの年頭の挨拶と致します。

